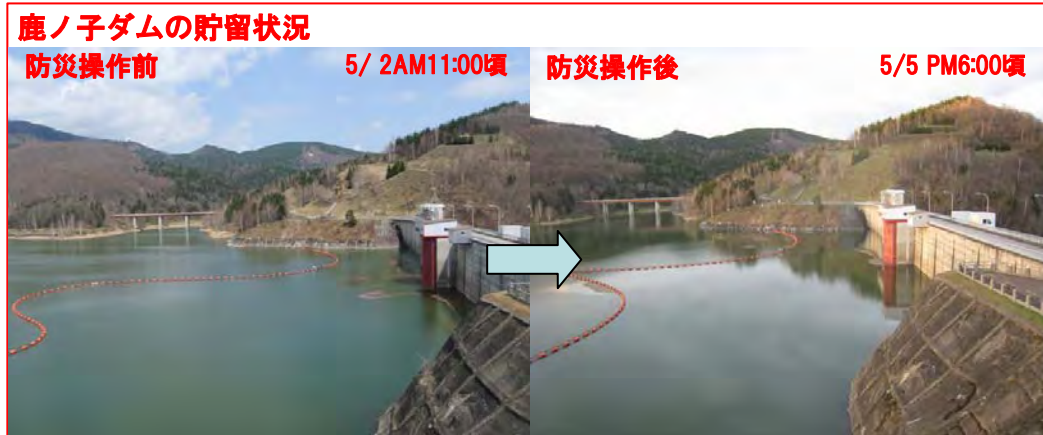
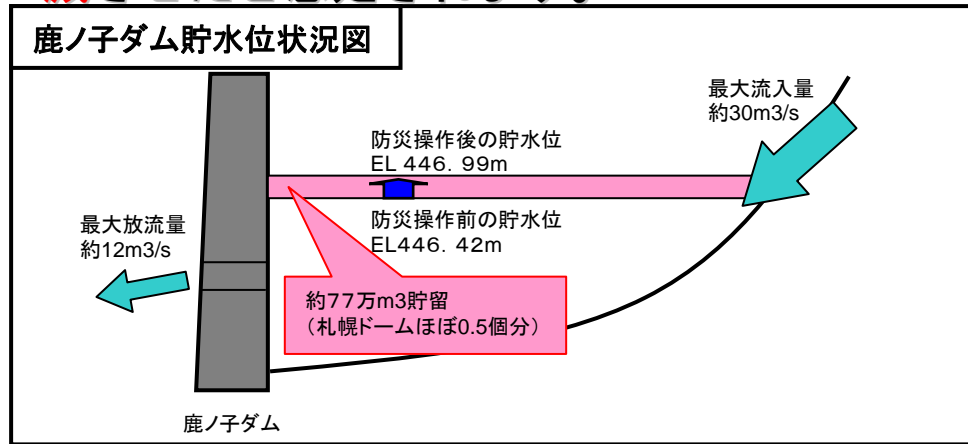


# 鹿ノ子ダムの防災操作効果について

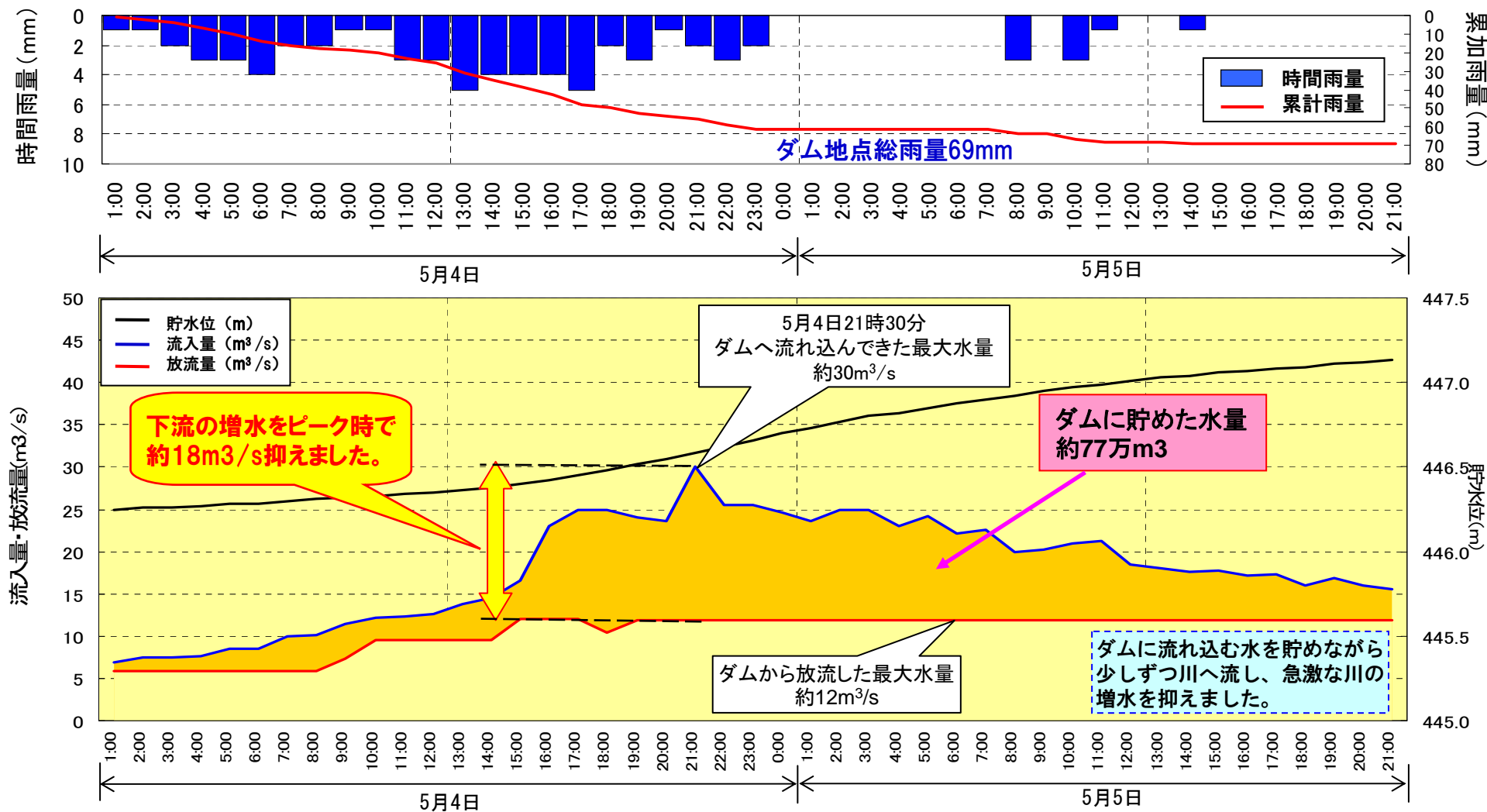
平成24年5月4日から降り始めた雨と融雪により、常呂川の上流にある鹿ノ子ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**ダムに流れ込んでくる水の一部を貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、置戸町市街部学友橋（置戸水位観測所）付近の水位を**約0.2m低減**、北見市市街部若松大橋（北見水位観測所）付近の水位を**約0.1m低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 鹿ノ子ダムの防災操作状況

今回の出水において、鹿ノ子ダムでは、最大で毎秒約30m<sup>3</sup>の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒12m<sup>3</sup>程度に抑えることで、差分をダムにため込み、**約77万m<sup>3</sup>**（札幌ドームほぼ0.5個分）の洪水を貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

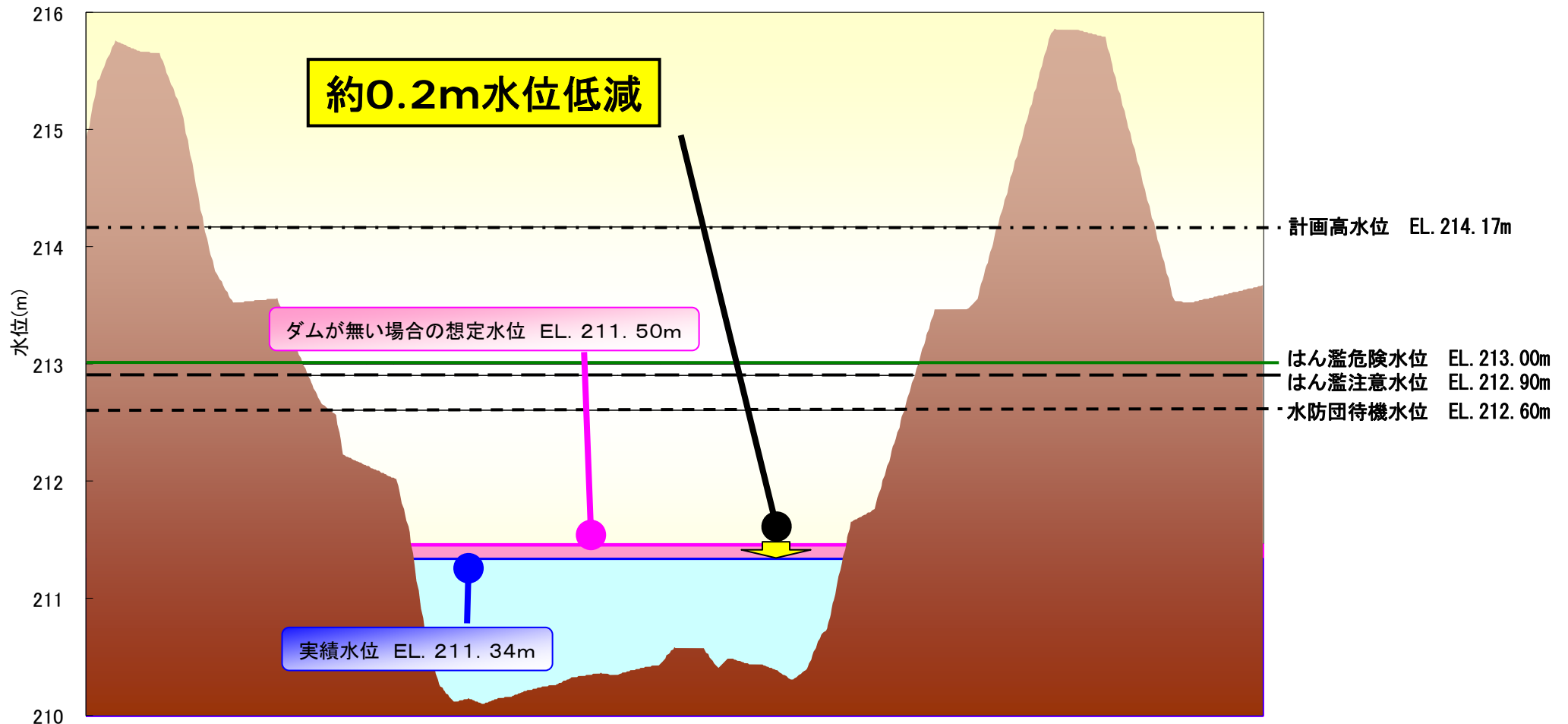


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 鹿ノ子ダムによる水位低減効果（置戸水位観測所地点）

鹿ノ子ダムの防災操作により、常呂川の置戸町市街部学友橋（置戸水位観測所）付近の水位を約0.2m低減させたと想定されます。

## ◆置戸水位観測所地点（鹿ノ子ダム下流約22km）

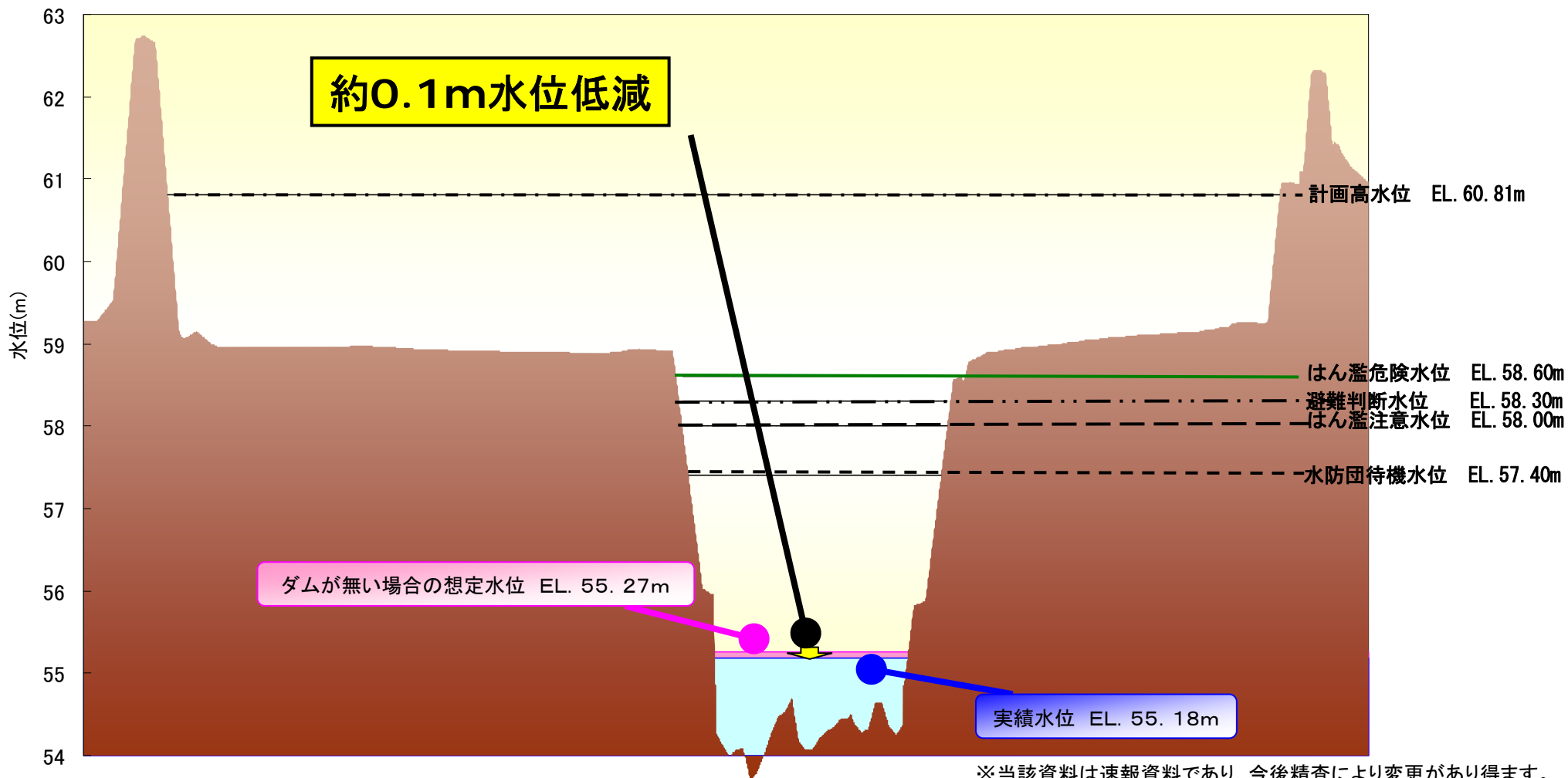


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 鹿ノ子ダムによる水位低減効果（北見水位観測所地点）

鹿ノ子ダムの防災操作により、常呂川の北見市市街部若松大橋（北見水位観測所）付近の水位を約0.1m低減させたと想定されます。

## ◆北見水位観測所地点（鹿ノ子ダム下流約5.5 km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。